

18 みえ食の”人材”育成プラットフォーム
商品開発事業

「ホテルのお持ち帰りスイーツを開発しよう!」

私たちの活動では、都ホテル四日市様と連携し、ホテルのお持ち帰りスイーツの商品開発を行っています。パートドプリュイというスイーツに決まり、話し合いながら販売に向けてどのような商品にしていけるかを検討して、3月には商品化する予定です。

メンバー数：3名
活動場所：四日市市
実施主体：みえ食の“人材”育成プラットフォーム事務局
(三重県雇用経済部県産品振興課)
担当教員：藤井 恭子 (現代日本社会学部)
活動年度：R05



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

今年度の活動は5月から始まり、都ホテル四日市様とオンラインで打ち合わせを行いました。昨年度の活動にて、パート・ド・フリュイをお持ち帰りスイーツとして販売することが決まり、メンバーの方で何の味が良いか、案をいくつか出し合い、事前にその案を都ホテル四日市様の方に提案してあったため、その進捗状況について伺い、今後の予定を立てていきました。

7月には、大学に都ホテル四日市様が来ていただき、対面で打ち合わせを行いました。都ホテル四日市様が試作品を作って持ってきてくださり、みかん、日本酒、和紅茶、緑茶、トマト、ウコンの味の試作品を頂きました。

都ホテル四日市様との対面での打ち合わせ後、メンバー間でオンラインミーティングを行い、試作品を食べた感想の意見交流や、3種類の味の確定、また、それぞれの味の色合い、そしてどのような箱に入れてパート・ド・フリュイをお客さんに販売するのかを話し合いました。味はお茶、日本酒、みかんに決まり、日本酒については、常若のしずくを開発した太田酒造様にご協力いただきました。色合いに関しては、1色だけではなく、日本酒では、上を水色、下を白色にし、2色のグラデーションにしたいという意見が出ました。また、入れる箱をどうするかに関しては、都ホテル四日市様が実際に使用している箱でパート・ド・フリュイが3つ入る長方形のものがあればそれを使いたいということや、中にある紙にコラボのコンセプトや紹介文、キャッチコピーを入れたいという案に固まりました。2月にはミーティングを実施して紹介文を完成させ、3月には商品の販売を開始する予定です。

月別活動

- 5月 オンライン打ち合わせ
- 7月 試作品試食打ち合わせ、メンバー間でのオンラインミーティング
- 2月 紹介文作成にむけてのオンラインミーティング
- 3月 商品の販売開始 (予定)



活動を通して学んだこと

活動を通して、商品開発していく上で、誰に向けて(年代など)売なのか、どのような目的でその商品開発していくか、また、味や色合い、商品の販売時に入れる箱に関しても、どのようなものになればホテルに来たお客さんに買ってもらい、喜んでくれるかなど、商品を開発し、販売するまでに多くの観点から考えなければならぬという商品開発の難しさを学びました。

実施主体からのコメント

みえ食の“人材”育成プラットフォーム事務局
ご担当者様

当事業は、みえ食の“人材”育成プラットフォームが実施している「みえ食の“人材”育成プラットフォーム産学連携商品開発事業」の一環としても活動していただいています。

今年度は昨年度に引き続き、都ホテル四日市様と新しいお持ち帰りスイーツの開発に取り組んでいただきました。活動にあたっては、味や見た目、パッケージなど、学生ならではの視点で積極的に意見を出していただいています。

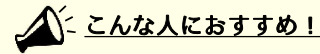
引き続き、みえ食の魅力発信にご協力いただけますと幸いです。



担当教員より

現代日本社会学部 藤井 恭子

CLLとしては今年度からになりますが、昨年度から商品化にむけて実施主体様の温かなご支援をいただきつつ、メンバーと協力しながら活動をしてきました。メンバーはこれまで商品化についてさまざまなことを学んできました。この経験をさまざまなことに生かしてもらえたらと考えています。3月から実際の販売活動が始まる予定です。今後に期待しています。



・商品開発に興味がある人

成果物 / 制作物